

## 第3期飯塚市地域福祉計画 事前質問に対する回答

## 【資料1】行政（公助）の取り組み状況調査結果

No	該当箇所	項目	質問	回答	回答課
1	P1 No. 1、 No. 2	人権教育・啓発研修会、講演会等の開催事業、男女共同参画推進に関する講演会の事業実施による意識啓発	【意見】 それぞれ実行委員さんや担当職員は頑張っているんじゃないかなと思います。研修会等、企画計画の段階から当事者に参画してもらうことが大事ではないでしょうか？	ご意見ありがとうございます。所管課へ情報提供いたします。	社会・障がい者福祉課
2	P1 No. 4	ボランティア・市民活動への参加状況	【意見】 市民が企画している事業に、直接担当課ではなくても、行政職員がボランティアで参加される風景が見えてくると、楽しく市民活動が出来るのではないのでしょうか？	ご意見ありがとうございます。行政職員に対して周知したい事業やイベントがありましたらお知らせください。	社会・障がい者福祉課
3	P1 No. 6	生涯学習ボランティアネットワーク事業	【質問】 各学校の生涯学習ボランティアネットワーク活用事例集はホームページ等で見れるのですか？	関係各所に配布を目的に作成したのになり、未公開としています。	生涯学習課
4	P2 No. 19	福祉に関する情報を十分に入手しているか	【質問】 福祉に関する情報を入手出来ている人の割合が非常に少ないと思います。目標値が70%ですが、3割の人が入手できない状況に対して対応策はありますか？	令和4年6月17日から令和4年7月31日に実施した市民アンケートの結果を基に2032年度の目標値を設定しています。市民アンケート結果の「今のところ、情報を得る必要がない」「無回答」と回答した割合以外の人が「入手できている」状況になることを目指します。	社会・障がい者福祉課
5	P2 No. 29	自主防災組織の設立・強化支援	【質問】 自主防災組織設立が増えているのは成果だと思います。組織ごとに防災意識に差があるという問題点に対して、どのような対応がされていますか？	各地区で実施されている、まちづくりイベントを含む地域行事に出向き、防災啓発ブースの設置及び協働運営を行うよう取り組んでいます。このことにより、単独事業での集客不足や、啓発事業に携わることによる自主防組織の運営支援を行えることが最大のメリットであると考えております。	防災安全課
6	—	アンケート結果について	【質問】 市民意識の変化などを成果指標とするものについて、アンケート調査でされるもの実施は、いつ、どのような形で進捗結果を反映されるのでしょうか？	次回2032年度に実施する第4期飯塚市地域福祉計画を策定する段階で市民アンケートを実施し、進捗の確認を行う予定です。	社会・障がい者福祉課

## 【資料2】共助の取り組み状況調査結果

No	該当箇所	項目	質問	回答	回答課
7	P1 No. 2	福祉委員研修（地区社協、ネットワーク委員会） 視察研修 福祉・健康に関する講演会	【質問】 活動実績では、どこも福祉委員研修が行われているように思いますが参加者が少ないと解釈してよいのでしょうか？土・日開催の検討と、平日の夜など時間帯の検討もされていますか？参加する当事者たちの希望は聞かれているのでしょうか？	福祉委員研修は、地区ごとに飯塚市社会福祉協議会や地区社会福祉協議会が実施しており、全員参加の地区や希望者参加の地区もあります。また、休日開催や平日夜間の実施について検討してはどうかと話している地区もありました。受講対象者である福祉委員の要望を聞いて、実施日や内容等を決めている地区もありました。	地域福祉ネットワーク委員会（社会・障がい者福祉課）
8	P1 No. 2	福祉委員研修（地区社協、ネットワーク委員会） 視察研修 福祉・健康に関する講演会	【質問】 「社協より資金難により研修会の単独開催困難」とは、研修会の資金繰りはどのように行われているのですか？	地区社会福祉協議会、地域福祉ネットワーク委員会ごとに予算を決めています。この地区では、地区社会福祉協議会予算で主催されていた福祉委員研修について、飯塚市社会福祉協議会からの補助金減少等で歳入が減少したことにより、地域福祉ネットワーク委員会へ共催の提案があったとのことです。	地域福祉ネットワーク委員会（社会・障がい者福祉課）
9	P1 No. 3	男性料理教室	【提案】 男性料理教室に参加者が少ない理由は何でしょうか？以前に参加した男性料理教室は、時短の料理や酒のつまみなど、男女ともに楽しく作れる料理でした。男性に声掛けと同時に、どんな料理だったら参加しやすいかを聞いてみるのもいかがでしょうか？	ご意見ありがとうございます。聞き取りを行った地区の地域福祉ネットワーク委員会へ提案いたします。	地域福祉ネットワーク委員会（社会・障がい者福祉課）

## 【資料2】 共助の取り組み状況調査結果

No	該当箇所	項目	質問	回答	回答課
10	P2 No. 5	自治会への加入促進	【質問】 図書館の調べ学習コンクールでも「自治会とは」と調べてまとめた小学生の作品がありました。行政や地域福祉ネットワーク委員会で実施された小学生の出前講座については、どこでどのような講座があったか教えてください。	小学生の出前講座について、今年度は、市内小学校のうち2校(立岩小学校・片島小学校)で実施しました。地域を支える自治会の皆様にスポットを当て、啓発動画「自治会のうた」を起点とし、行政と自治会長が共に小学生へ働きかけを行いました。自治会の存在意義や役割について学び、子どもたちの故郷に対する地域愛や地域貢献への関心を高め、地域への感謝の気持ちを醸成すると同時に、自治会長自身のやりがいや生きがいへと繋がる出前授業を実施しました。 (実施内容:①自治会活動の紹介②小学生から自治会長へインタビュー③自治会クイズ④自治会のうた視聴)	まちづくり推進課、 地域福祉ネットワーク 委員会(社会・障がい者福祉課)
11	P2 No. 5	自治会への加入促進	【質問】 自治会への加入促進で、やり方の工夫等で良い結果を出している自治会もあるのではないのでしょうか？情報交換等はあるのでしょうか？どの様に？市報配布や募金集金、役員の成りてのやりくり等も参考になるヒントを持っている自治会もあるのではないのでしょうか？	自治会連合会や各支部の自治会長会等において、加入促進についてどう取り組むべきかという協議を行っています。また、役員の負担軽減などの自治会が抱える問題等について情報交換を行っています。  行政で把握している内容及び地域福祉ネットワーク委員会への聞き取り結果は以下のとおりです。 【市報配布について】 ・高齢で組長ができない人は組長を充てない等うまくいっている隣組もある。 ・組長をできない人へは、回覧板だけ回ってもらうようにしている。 ・15日の回覧に載せている翌月の予定一覧だけは見るように定着している。 資料作成のために市や社協に早めに情報をもらうように依頼している。 ・市報が必要な人は、若い人はホームページを、その他高齢者等はコスモスコモン等に取りに行っている。他の自治体は、自治体がポストインしていると聞いた。 【募金の集金について】 ・年間まとめて自治公民館費と一緒に集金している自治会もある。 【予算について】 ・自治会費や組費を下げ、自治会未加入者へは街灯の説明をして年2,000円を徴収している。 ・防犯灯のLED化で電気代が約半減し、節電のため22時以降は消灯している。	まちづくり推進課、 地域福祉ネットワーク 委員会(社会・障がい者福祉課)
12	P2 No. 8	各種団体への助成	【質問】 子どもや障がい者へも使っていけるようにすることは大事なことだと思いますが、予算計上の仕組みがわかりません。	それぞれの地域福祉ネットワーク委員会で予算を作成し、地域福祉ネットワーク委員会が各自治会等の実施する事業に対して補助しています。	地域福祉ネットワーク 委員会(社会・障がい者福祉課)
13	P3 No. 1	いきいきサロン	【質問】 いきいきサロンは各自治会で色々工夫をされて実施されていると思います。弁当のことや、イベントの内容、参加者のひきつけ方、困り事など情報交換はありますか？	各地域福祉ネットワーク委員会へ聞き取りを行った内容では、直接情報を共有する場は設けていないとのことですが、地区社会福祉協議会間で情報を共有することはあるようです。本計画の進捗確認時に他の地域福祉ネットワーク委員会で聞き取った内容をお伝えすることもあります。	地域福祉ネットワーク 委員会(社会・障がい者福祉課)
14	P4 No. 16	学校行事への参加	【質問】 小中学校への行事参加がいろんな形で実施されていると思います。大学との連携事業はありますか？	地域福祉ネットワーク委員会へ聞き取りを行った結果では、大学との連携はしていないようです。	地域福祉ネットワーク 委員会(社会・障がい者福祉課)
15	P4 No. 17	避難行動要支援者実態調査	【質問】 飯塚市内の全自治会が対応しているのですか？	調査は飯塚市内全域を対象として行われており、民生委員・児童委員協議会理事会及び自治会連合会理事会を通して調査にご協力をいただくよう依頼を行っております。	高齢者支援課

## 【資料3】 公助、共助の取り組みにおける課題

No	該当箇所	項目	質問	回答	回答課
16	P1 (1)①	人権意識の啓発を基盤とした福祉意識の向上	【質問】 男性が参加しやすい環境とはどんな環境でしょうか？当事者の声を聞きたい。男女共に、研修等の集客は課題ですね。	「男性が参加しやすい環境」とは、「資料3課題解決策」とおり、企画内容や実施時間、広報手法があげられます。ご意見のとおり、研修や講座等の参加者をいかに増やすかが大きな課題ですが、効果的な手段が見いだせていないのが実情です。 当課では、男女共同参画への理解を深めるため、従来の参加型に拘らず、既存の団体やグループ等の会合に職員を講師として派遣する「出前講座」を実施しているところです。	男女共同参画推進課
17	P1 (2)①	自治会等の地域活動の促進	【質問】 自治会運営がスムーズな地域はありませんか？ 自治会でなり手がいない等の地域が多いように感じるため、うまくいっているところがあれば、その実態を知りたいです。	地域福祉ネットワーク委員会への聞き取り結果は以下のとおりです。 【なり手の確保について】 ・子どもの見守りを行っている推進隊が、小学生へ出前講座や遠足の手伝いへの参加時に自治会の歌を教えるなどの自治会活動を周知することで、家族への周知にもつながった。 ・高齢で組長ができない人は組長を充てない等うまくいっている隣組もある。 ・組長をできない人へは、回覧板だけ回ってもらうようにしている。 ・15日の回覧に載せている翌月の予定一覧だけは見るように定着している。 資料作成のために市や社協に早めに情報をもらうように依頼している。 ・市報が必要な人は、若い人はホームページを、その他高齢者等はコスモスコモン等に取りに行っている。他の自治体は、自治体がポストインしていると聞いた。 ・隣組長を数年継続しており、溝掃除や公民館掃除等を実施していたが、若い人に活動等が根付いておらず、参加者も3人程だったため、やり方等を引き継いでいけないと思い、交代制としたところ全員の参加となった。 ・会議等は欠席や遅刻しても負担にならないよう時間になったら開始する等、活動において強制することを減らしている。臨機応変に自治会で考えている。 【会費について】 ・自治会費や組費を下げ、自治会未加入者へは街灯の説明をして年2,000円を徴収している。 ・防犯灯のLED化で電気代が約半減し、節電のため22時以降は消灯している。 ・新築が建った区画に子連れの家族が入居したため、公民館で自治会の説明会を実施。困りごとを聞き、街灯の件が出たため、自治会から市に依頼して、市補助と自治会費で設置する説明を行ったところ、7割が自治会と子ども会に加入した。 ・自治会を脱退した人に利用している街灯費を徴収する等の対応を試みたところ、再加入となった。	地域福祉ネットワーク委員会(社会・障がい者福祉課)
18	P1 (2)①	自治会等の地域活動の促進	【質問】 課題解決策の中に…してはどうかという項目がいくつかあります。公助・共助で検討の余地はありますか？	「…してはどうか」という記載は、地域福祉ネットワーク委員会の皆様が話し合われた課題解決に向けて挙がった、今後検討しようとしている内容です。また、公助についても、当協議会後、所管課へ情報共有いたします。	地域福祉ネットワーク委員会(社会・障がい者福祉課)

## その他

No	該当箇所	項目	質問	回答	回答課
19	【資料2】 P6 No. 6 関連	災害時支援体制(避難所関係)	【意見】 いづか男女共同参画推進ネットワークで、10月に防災講座を、飯塚市の補助金で開催しました。聴覚障害の方がたくさん参加されており、参加者から「災害時に自分はどうするのか、他の人のために(地域の中で)何ができるのか、日ごろから考えておく必要がある。平常時が大切」との感想をいただきました。こういう講座にもっと行政の職員の参加が欲しいと思いました。	ご意見ありがとうございます。市民の皆様をはじめ職員にも引き続き講座等への参加の促進を図ってまいります。	男女共同参画推進課